

「薄暮時間帯」に 事故相次ぐ 日没前後、1時間以内

この時間帯は薄暗く

車から歩行者が...

歩行者から車が...

見づらく、事故が多い傾向にあります

ドライバーには...早めのライトの点灯

歩行者には...反射材などを着ける

「薄暮の時間帯」に 道路横断中の歩行者はねられる事故相次ぐ 専門学校生の19歳女性と88歳男性が重傷

2024/11/24(日)

長野県内で23日、いずれも午後5時ごろの「薄暮の時間帯」で、道路を横断中の歩行者が車にはねられる事故が相次ぎました。専門学校生の19歳女性が骨盤を折る重傷、88歳の男性が左腕の骨を折る重傷です。

23日午後5時ごろ、箕輪町の国道で横断歩道を歩いて渡っていた専門学校生の女性（19）が、女性（77）の運転する軽乗用車にはねられました。この事故で専門学校生が病院に搬送され、骨盤を折る重傷です。

また、23日午後5時半ごろ、富士見町の町道を渡っていた男性（88）が、男性（56）が運転する乗用車にはねられました。男性（88）は左腕の骨を折るなどの重傷です。